

第 2 期 松田町総合戦略（案）の概要について

【松田町総合戦略とは】

平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が制定され、同年12月には、わが国の人口の現状と目指すべき将来の姿を分析した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と「人口減少と地域経済縮小の克服」と「まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立」を基本的な考え方とした「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されています。

まち・ひと・しごと創生法では、国の示した長期ビジョンや総合戦略に基づき、地方公共団体においては、地方版の人口ビジョン及び総合戦略の策定に努めることとされています。

この地方版の人口ビジョンにあたるのが「松田町人口ビジョン（計画期間：2040年までの25年間）」で、総合戦略にあたるのが「松田町総合戦略」となりますが、現行の「松田町総合戦略」の計画期間が令和元年度までの5年間となっているため、令和元年度中に「第2期松田町総合戦略」を策定することが国から求められているところです。

なお、地方創生関係交付金を活用するためには、この総合戦略に取組みが位置付けられていることが必要となります。

【第2期松田町総合戦略（案）の概要】

〔総合戦略（案）の概要〕

1. 総合戦略の目標

「笑顔あふれる幸せのまち 松田 ～自然と街が融合した、おもてなしのまち～」

2. 施策の基本目標（総合計画に合わせる形で次のとおり見直し）

- 基本目標 1 誰もが健康で思いやりのある暮らしを育むまち（健康・福祉）
- 基本目標 2 質の高い学びで次代の担い手と文化を育むまち（教育・文化）
- 基本目標 3 賑わいと雇用を生み出し、働きがいとを育むまち（経済・産業）
- 基本目標 4 持続的に発展し、豊かな暮らしを育むまち（暮らし・基盤）
- 基本目標 5 自然と共生し、安全・安心な環境を育むまち（自然・環境）
- 基本目標 6 みんなで協力し、みんなの力を育むまち（実現手段）

（参考：「第1期」における施策の基本目標）

- 基本目標 I 松田町への夢や期待に応える住環境づくり
- 基本目標 II 若い世代が安心して、子どもを産み育てられる環境づくり
- 基本目標 III だれもが快適に暮らせる環境づくり
- 基本目標 IV 松田町の活力につながる産業・交流づくり

3. 各基本目標における「基本的方向」と「KPI」の見直し状況

「参考資料1」のとおり（KPIの設定概要については次のとおり）

※第2期総合戦略＝計33（うち新規＝4 見直し＝2 一部修正＝4 継続＝23）

（参考）第1期総合戦略では、計29のKPIを設定していました。

[第1期からの主な変更点]

1. 「第1期 松田町総合戦略」を基本的には踏襲しつつも、松田町第6次総合計画との整合性を図ることを軸に、主に次のとおり内容を見直しました。
 - (1) 国が推進する持続可能な開発目標（SDGs）への関連付け
⇒33 ページ～35 ページ
 - (2) 基本目標を総合計画に合わせる形へ見直し（前ページ参照）
⇒33 ページ～37 ページ
 - (3) 「取り組みの方策」について、(1) 及び (2) を踏まえ構成等を見直すとともに、令和元年6月21日に閣議決定された「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」に位置付けられた「第2期における新たな視点」並びに令和元年12月20日に閣議決定された国の「第2期『まち・ひと・しごと創生総合戦略』」を踏まえ、次の内容を追加記載
 - ①関係人口の創出・拡大に関すること ⇒ 48 ページ
 - ②未来技術(Society5.0の実現に向けた技術)に関すること ⇒ 51 ページ
 - ③民間資金の地方還流に関すること ⇒ 51 ページ
 - ④誰もが活躍できる地域社会の実現に関すること ⇒ 52 ページ

【参考】

1. パブリックコメント実施結果概要
「資料2」のとおり
2. 松田町人口ビジョン（改訂案）の概要
松田町人口ビジョンは、松田町の将来像を実現していくため、「人口問題」の観点から、克服すべき課題とその解決に向けたビジョンを将来展望として整理ものです。
松田町人口ビジョンの計画期間については、令和22年までとなっているため、大きな変更は行いませんが、松田町第2期総合戦略の策定に伴い、元号や統計情報の更新など時点修正を中心に簡易な改訂のみ行いました。
※詳細は「参考資料2」のとおり
3. 今後のスケジュール

日 程		概 要
2月	5日	松田町総合戦略審議会（第2回）
	13日	松田町議会全員協議会
3月	上旬	第2期 松田町総合戦略の完成
	中旬	松田町議会全員協議会「第2期 松田町総合戦略」配付
	下旬	第2期 松田町総合戦略の公表